

議題1. 一色町地内の産業廃棄物処分場問題について

- 1) 一色地区産業廃棄物最終処分場は、いつから操業を許可され、事業は何年間行われたのか。
- 2) 同最終処分場の面積と容積および土地の所有者等の形態はどのようなか。
- 3) 同処分場は3工区に分かれているというが、市では、どこに、どのような産業廃棄物がどれほど埋設されているのか。
- 4) 同処分場には、不法投棄が行われていたというが、旧一色町、また合併後の西尾市としては、それをどのように把握しているのか。
- 5) 県は、同処分場の許認可権者として、当該処分場の水質検査等を継続して行い、事業者には、指導等を行ってきたというが、それはどのようなものであったのか。
- 6) 同処分場は10年以上、必要な水処理もされず放棄されたままであるというが、この間、旧一色町また市としてどのような対応をとってきたのか。
- 7) 市長は、この最終処分場の廃棄物が処分場外に拡散しないように手を打ちたいと言うが、現在、廃棄物は拡散しているのか。
- 8) 拡散の状況について許認可権者である県はどのように把握しているのか。
- 9) 埋設廃棄物を無害化するには、新聞報道によれば300~400億円かかるというが、市はどう考えているのか。
- 10) 汚染防止策として、市は、止水矢板を打つなどを対策というが、地下水の流れ・水脈は把握しているのか。
- 11) 拡散防止策を講じるためには、処分場内部の現在の汚染状況について、地下水を含めた立ち入り調査をする必要があるのではないか。
- 12) 市も立ち会って、県に早急な立ち入り調査を求めるべきと思うがどうか。
- 13) 昨年10月に、市長は議会に対して同処分場に関する説明会を実施し、その時には問題はないとの説明だったがどうなのか。
- 14) 市長は、新聞報道された新たな処分場計画は、昨年秋に県の職員から提案を受けたというがどうか。

- 15) 処分場の跡地処理と「埋立50年容量1000万㎡」という新たな処分場計画とは、別の問題なのではないか。

- 16) 今回の新聞報道によって、17万市民は非常に心配している。ともかく、今一番重要なのは処分場跡地にどのような問題があるのかをはっきりさせることではないのか。市民の不安をどうやって解消するのか。市の態度を問う。